

平成25年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月10日
上場取引所 東

上場会社名 旭化学工業株式会社
コード番号 7928 URL <http://www.asahikagakukogyo.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
定時株主総会開催予定日 平成25年11月26日
有価証券報告書提出予定日 平成25年11月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 杉浦 武
(氏名) 奥村 哲男
配当支払開始予定日
TEL 0566-92-4181
平成25年11月27日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期	6,864	6.6	157	△54.9	188	△47.2	100	△61.5
24年8月期	6,436	4.1	349	△11.3	357	△7.0	262	△19.0

(注) 包括利益 25年8月期 796百万円 (226.5%) 24年8月期 244百万円 (△9.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年8月期	27.66	—	2.0	3.2	2.3
24年8月期	71.91	—	5.8	6.5	5.4

(参考) 持分法投資損益 25年8月期 ー百万円 24年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年8月期	6,374	5,393	84.6	1,477.97
24年8月期	5,570	4,651	83.5	1,274.63

(参考) 自己資本 25年8月期 5,393百万円 24年8月期 4,651百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年8月期	432	△774	△55	1,055
24年8月期	591	△274	△65	1,183

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年8月期	—	4.00	—	11.00	15.00	54	20.9	1.2
25年8月期	—	4.00	—	4.00	8.00	29	28.9	0.6
26年8月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00	—	—	—

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	8.0	80	15.9	85	△4.5	45	△21.1	12.33
通期	6,850	△0.2	180	14.6	190	1.1	100	—	27.40

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

25年8月期	3,896,000 株	24年8月期	3,896,000 株
25年8月期	246,987 株	24年8月期	246,950 株
25年8月期	3,649,035 株	24年8月期	3,649,153 株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成25年8月期の個別業績(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期	3,251	△6.4	△6	—	264	58.9	236	76.0
24年8月期	3,472	5.7	64	△41.4	166	△23.0	134	△35.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期	64.73	—
24年8月期	36.78	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年8月期	4,256		3,840	90.2			1,052.36	
24年8月期	4,031		3,619	89.8			992.00	

(参考) 自己資本 25年8月期 3,840百万円 24年8月期 3,619百万円

2. 平成26年 8月期の個別業績予想(平成25年 9月 1日～平成26年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	4.1	70	29.6	50	16.3	13.70
通期	3,350	3.0	150	△43.2	100	△57.6	27.40

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等より、上記予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
(4) 事業等のリスク	4
2. 企業集団の状況	5
3. 経営方針	6
(1) 会社の経営の基本方針	6
(2) 目標とする経営指標	6
(3) 中長期的な会社の経営戦略	6
(4) 会社の対処すべき課題	6
(5) その他、会社の経営上重要な事項	6
4. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
5. その他	18
(1) 代表取締役の異動	18
(2) その他の役員の異動	18
(3) その他	18

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日銀の金融緩和策により輸出産業を中心として企業業績が回復し、景気上昇への期待感が増しました。しかし、企業の設備投資には依然として力強さがなく、雇用環境も失業率に改善はみられるものの景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境は、電動工具業界におきましては、ロシアやアジア等の堅調な経済に支えられ販売が順調に推移しました。一方、自動車業界におきましても、為替が円安となったことから輸出が増加し、その結果生産も増加しました。

このような状況のなか当社グループは、タイ工場が平成24年10月に稼働を開始し増産体制を整えました。

この結果、当連結会計年度の売上高は68億64百万円（前期比6.6%増）となりました。一方、経常利益は1億88百万円（同47.2%減）、当期純利益は1億円（同61.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(イ) 日本

国内は、電動工具向け製品の受注が得意先の在庫調整等により減少しましたが、自動車向け製品は新モデル向け部品が売上に寄与し、電動工具向け製品の減少を補いました。

この結果、売上高は32億51百万円（前期比6.4%減）となり、自動車向け製品の売上増加により塗装等の外注加工費が増加したこと等により、6百万円の営業損失（前期は営業利益64百万円）となりました。

(ロ) 中国

中国は、円安による為替換算の影響により、売上高は37億22百万円（同21.0%増）となりましたが、人件費や修繕費の増加により、営業利益は1億94百万円（同15.2%減）となりました。

(ハ) タイ

タイは、平成24年10月に工場の稼働を開始しましたが、受注の見込みが当初予想を下回り稼働率が低かったため売上高は28百万円となり、工場建物及び機械装置等の償却負担により、営業損失は91百万円（前期は営業損失15百万円）となりました。

②次期の見通し

今後の見通しにつきましては、国内経済は政府の経済支援策により景気は穏やかな回復傾向が続くものと思われまます。しかし、当社を取り巻く環境は、国内生産は今後とも増加する要因はなく、海外生産がますます加速するものと思われまます。

当社グループでは、平成24年10月にタイ子会社の工場の稼働を開始し増産体制を整えました。厳しい受注競争に対応すべく営業活動を強化して売上の増加を図ってまいります。また、中国工場は、取引先の厳しい品質要求に対応すべく製品の品質の改善に取り組み、新規受注の獲得を図ってまいります。

一方、国内は、自社ブランドのアンカープラグの開発を得意先と協力して行う体制を確立し、新規製品の開発を促進してまいります。また、縮小する国内生産に対応すべく製造工程の集約等を検討し原価低減を図ってまいります。

この結果、次期の売上高は68億50百万円（前期比0.2%減）、営業利益は1億80百万円（同14.6%増）、経常利益は1億90百万円（同1.1%増）、当期純利益は前期と同額の1億円を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は前期比8億4百万円増の63億74百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億1百万円、有形固定資産が5億82百万円及び投資有価証券が50百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は前期比62百万円増の9億81百万円となりました。これは主に買掛金が1億8百万円及び長期繰延税金負債が31百万円それぞれ増加しましたが、未払法人税等が16百万円及びその他流動負債が51百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産の合計は前期比7億41百万円増加し53億93百万円となりました。これは主に利益剰余金が46百万円、その他有価証券評価差額金が38百万円及び為替換算調整勘定が6億57百万円それぞれ増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期比1億27百万円減の10億55百万円となりました。また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4億32百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が1億97百万円及び減価償却費が2億42百万円計上されたことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、7億74百万円となりました。これは主に定期預金の純支出が95百万円及び有形固定資産の取得による支出が7億3百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は55百万円となりました。これは主に配当金を54百万円支払ったことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年8月期	平成22年8月期	平成23年8月期	平成24年8月期	平成25年8月期
自己資本比率（%）	85.0	82.7	83.1	83.5	84.6
時価ベースの自己資本比率（%）	42.2	30.3	37.5	30.5	24.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	—	—	—	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	—	—	—	2,237

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注）1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への長期にわたる安定的な利益還元、及び企業体質の強化と事業基盤の拡充に必要な内部留保の充実や今後の事業展開などを勘案して、株主の皆様への積極的な利益還元をはかることを基本方針とし、每期連結当期純利益の20%の配当を行う旨目標を掲げております。

当期の配当につきましては、1株当たり年間8円（中間4円、期末4円）の普通配当を予定しております。内部留保資金につきましては、タイ工場の設備の購入等の設備資金に充当する予定であります。

また、次期の配当につきましては、厳しい業績予想のもと、1株当たり、年間8円（中間4円、期末4円）の普通配当を予想しております。

(4) 事業等のリスク

当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項については、当連結会計年度末現在において判断したものであります。

①特定の顧客への依存

当社グループは、プラスチック製品の成形及び加工を行っておりますが、その販売は特定の顧客に依存しております。この特定の顧客とは、継続的かつ安定した取引関係にありますが、その顧客の生産及び販売の状況によっては、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

②海外市場での活動において

当社グループは、中華人民共和国及びタイ王国に投資活動を行っておりますが、これらの国における政治及び経済の状況の変化は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

③為替変動について

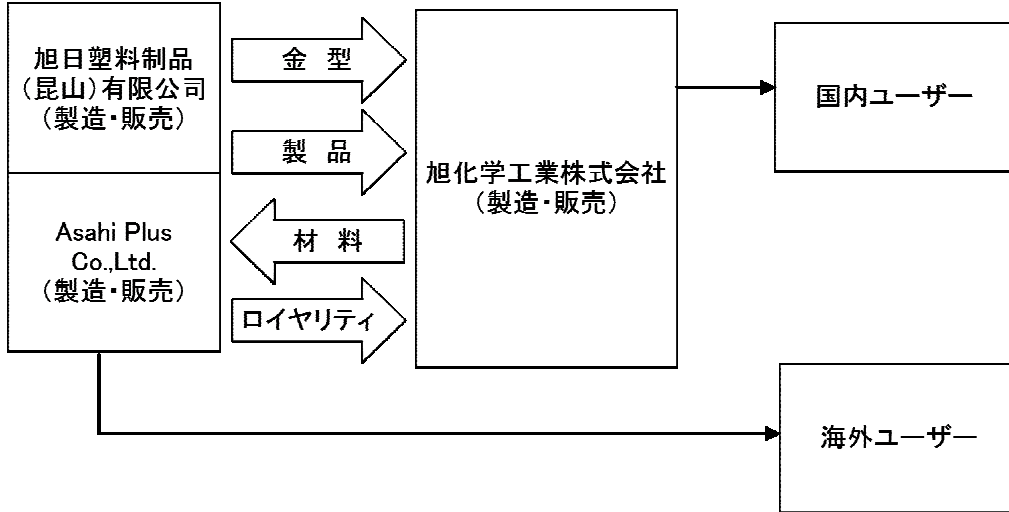
為替変動は、当社グループの外貨建取引から発生する資産及び負債の日本円換算額に影響を与える可能性があります。また、外貨建で取引されている製品の価格に影響を与える可能性があります。これらは、当社グループの業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

④原材料価格変動の影響について

原油価格の高騰により原材料の樹脂の価格が上昇した場合、当社グループは上昇分を製品価格に転嫁できるように顧客に要請はしますが、この上昇分相当額を製品価格に転嫁できない場合は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関連会社）は、当社（旭化学工業株式会社）及び子会社2社（旭日塑料制品（昆山）有限公司及びAsahi Plus Co.,Ltd.）により構成されており、事業として電動工具及び自動車部品の樹脂成形、電動工具の組付、樹脂金型の設計製作、並びに自社製品である建築資材の製造販売を事業としております。
事業系統図は次のとおりであります。



3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「愛されるプラスチックメーカー」を目指して、良い考え〔合理化の追求〕・良い商品〔信頼性の重視〕・良い職場〔人間性の尊重〕を社是として掲げ、「人・物・金は企業にとって限度がある。限度あるものを最高に活かすのが事業である。」との基本理念をもとに、創業以来、企業活動を行っております。

その基本理念のもと、社会のニーズに合った製品を造り出すための研究活動に注力し、技術力を高め、効率のよい生産システムを確立し、お客様及び市場からの評価を高め、収益力の向上と経営基盤の強化を図ってまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社は、当社グループの売上目標を100億円に設定し、毎年10%以上の増収を目指して事業活動を行っておりますが、当期は、前期比6.6%増の68億64百万円の売上となりました。

また、売上高売上総利益率20%を目標とし、売上の増収と共に利益率の向上を目指しております。当期はタイ工場の人件費及び減価償却費により前期の13.0%から10.1%へ2.9ポイント利益率が減少しました。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、その販売を特定の得意先の特定の業種（電動工具業界及び自動車業界）に依存しております。平成25年8月期におきましては、その特定の得意先の売上高の総売上高に占める割合は、89.8%となります。また、電動工具部品及び自動車部品の売上高の総売上高の占める割合は、90.1%となります。この特定の得意先の動向が当社グループの業績に大きく影響を及ぼします。そのため、自社ブランドのアンカープラグの製品改良や新製品の研究開発に力を注ぎ、その特定の得意先以外への販売の増加を計ってまいります。

(4) 会社の対処すべき課題

当社グループが属するプラスチック業界は、価格競争がますます激化し、得意先からの価格低減も厳しさを増しております。

得意先であります電動工具業界や自動車業界の海外生産も増加の一途をたどっております。当社グループも日本、中国、タイと3か国の生産体制を整えました。この海外進出に伴い、海外派遣社員の人材育成が課題であります。海外へ派遣可能な若手社員の中間管理者としての養成のため、外部教育を含めた教育体制の充実を図ってまいります。

(5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当連結会計年度 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,809,206	1,910,893
受取手形及び売掛金	935,514	934,190
商品及び製品	160,903	175,970
仕掛品	67,776	83,817
原材料及び貯蔵品	110,628	117,960
繰延税金資産	18,178	11,649
その他	71,398	108,201
貸倒引当金	△490	△490
流動資産合計	3,173,116	3,342,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	735,430	1,135,413
機械装置及び運搬具（純額）	483,344	736,313
土地	917,280	950,365
その他（純額）	131,546	28,151
有形固定資産合計	2,267,601	2,850,243
無形固定資産	9,385	12,328
投資その他の資産		
投資有価証券	92,541	143,160
その他	31,037	35,474
貸倒引当金	△3,176	△8,630
投資その他の資産合計	120,401	170,005
固定資産合計	2,397,388	3,032,577
資産合計	5,570,505	6,374,770
負債の部		
流動負債		
買掛金	598,743	706,938
未払法人税等	52,012	35,648
賞与引当金	25,955	17,902
役員賞与引当金	13,280	5,698
その他	191,831	140,285
流動負債合計	881,823	906,472
固定負債		
繰延税金負債	2,228	33,549
役員退職慰労引当金	35,269	38,766
その他	—	2,845
固定負債合計	37,497	75,161
負債合計	919,321	981,634

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当連結会計年度 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	3,646,270	3,692,461
自己株式	△132,908	△132,927
株主資本合計	4,915,087	4,961,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,393	58,172
為替換算調整勘定	△283,296	373,703
その他の包括利益累計額合計	△263,903	431,876
純資産合計	4,651,184	5,393,135
負債純資産合計	5,570,505	6,374,770

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年9月1日 至 平成24年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	6,436,916	6,864,182
売上原価	5,602,411	6,172,051
売上総利益	834,505	692,131
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	102,486	97,537
役員報酬	62,775	68,776
給与・賞与	113,006	138,909
賞与引当金繰入額	4,004	4,139
役員賞与引当金繰入額	13,280	2,458
役員退職慰労引当金繰入額	3,339	3,497
退職給付費用	2,118	2,674
厚生費	53,707	71,371
貸倒引当金繰入額	△36	—
その他	130,686	145,211
販売費及び一般管理費合計	485,368	534,575
営業利益	349,136	157,556
営業外収益		
受取利息	20,565	30,923
受取配当金	2,474	1,982
その他	4,263	3,980
営業外収益合計	27,302	36,886
営業外費用		
支払利息	—	193
為替差損	18,845	5,403
その他	64	—
営業外費用合計	18,910	5,597
経常利益	357,529	188,846
特別利益		
固定資産売却益	714	—
投資有価証券売却益	6,592	16,112
保険差益	3,414	—
特別利益合計	10,721	16,112
特別損失		
固定資産売却損	577	492
固定資産除却損	4,472	0
就業補償金	382	1,818
会員権等評価損	1,800	—
貸倒引当金繰入額	—	5,453
特別損失合計	7,232	7,764
税金等調整前当期純利益	361,017	197,194
法人税、住民税及び事業税	104,258	78,953
法人税等調整額	△5,658	17,315
法人税等合計	98,599	96,268
少数株主損益調整前当期純利益	262,418	100,926
当期純利益	262,418	100,926

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年9月1日 至 平成24年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	262,418	100,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,529	38,779
為替換算調整勘定	△5,846	657,000
その他の包括利益合計	△18,375	695,779
包括利益	244,042	796,705
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	244,042	796,705
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成23年9月1日 至 平成24年8月31日)		(自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)	
株主資本				
資本金				
当期首残高	671,787		671,787	
当期変動額				
当期変動額合計	—		—	
当期末残高	671,787		671,787	
資本剰余金				
当期首残高	729,938		729,938	
当期変動額				
当期変動額合計	—		—	
当期末残高	729,938		729,938	
利益剰余金				
当期首残高	3,449,538		3,646,270	
当期変動額				
剰余金の配当	△51,089		△40,139	
剰余金の配当(中間配当額)	△14,596		△14,596	
当期純利益	262,418		100,926	
当期変動額合計	196,732		46,190	
当期末残高	3,646,270		3,692,461	
自己株式				
当期首残高	△132,822		△132,908	
当期変動額				
自己株式の取得	△85		△18	
当期変動額合計	△85		△18	
当期末残高	△132,908		△132,927	
株主資本合計				
当期首残高	4,718,440		4,915,087	
当期変動額				
剰余金の配当	△51,089		△40,139	
剰余金の配当(中間配当額)	△14,596		△14,596	
当期純利益	262,418		100,926	
自己株式の取得	△85		△18	
当期変動額合計	196,646		46,172	
当期末残高	4,915,087		4,961,259	

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年9月1日 至 平成24年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金		
当期首残高	31,923	19,393
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△12,529	38,779
当期変動額合計	△12,529	38,779
当期末残高	19,393	58,172
為替換算調整勘定		
当期首残高	△277,450	△283,296
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△5,846	657,000
当期変動額合計	△5,846	657,000
当期末残高	△283,296	373,703
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△245,527	△263,903
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△18,375	695,779
当期変動額合計	△18,375	695,779
当期末残高	△263,903	431,876
純資産合計		
当期首残高	4,472,913	4,651,184
当期変動額		
剰余金の配当	△51,089	△40,139
剰余金の配当 (中間配当額)	△14,596	△14,596
当期純利益	262,418	100,926
自己株式の取得	△85	△18
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△18,375	695,779
当期変動額合計	178,270	741,951
当期末残高	4,651,184	5,393,135

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年9月1日 至 平成24年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	361,017	197,194
減価償却費	199,835	242,029
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,088	△11,715
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,590	△7,582
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,339	3,497
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△36	5,453
受取利息及び受取配当金	△23,039	△32,906
支払利息	—	193
為替差損益 (△は益)	△545	△5,744
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,592	△16,112
有形固定資産売却損益 (△は益)	△137	492
有形固定資産除却損	4,472	0
会員権等評価損	1,800	—
保険差益	△3,414	—
売上債権の増減額 (△は増加)	114,996	121,662
たな卸資産の増減額 (△は増加)	85,801	11,530
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△12,483	△15,925
仕入債務の増減額 (△は減少)	△79,746	8,781
未払費用の増減額 (△は減少)	2,443	616
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,143	△11,300
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△5,051	11,763
小計	641,304	501,927
利息及び配当金の受取額	13,921	29,579
利息の支払額	—	△193
保険金の受取額	7,848	—
法人税等の支払額	△71,097	△98,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	591,978	432,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△280,441	△284,132
定期預金の払戻による収入	180,000	188,594
有形固定資産の取得による支出	△176,228	△703,913
有形固定資産の売却による収入	1,221	905
無形固定資産の取得による支出	△4,408	△779
投資有価証券の取得による支出	△7,979	△7,573
投資有価証券の売却による収入	15,391	32,635
その他投資等の取得による支出	△2,048	△629
その他	33	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△274,460	△774,891
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△85	△18
配当金の支払額	△65,789	△54,697
その他	—	△600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,875	△55,316
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,126	270,013
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	236,516	△127,530
現金及び現金同等物の期首残高	946,560	1,183,076
現金及び現金同等物の期末残高	1,183,076	1,055,545

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、プラスチック製品の成形加工事業の単一事業であり、国内においては当社が、海外においては中国を旭日塑料制品(昆山)有限公司が、タイをAsahi Plus Co., Ltd. がそれぞれ担当しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」及び「タイ」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、電動工具部品、自動車部品及びその他のプラスチック製品を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成23年9月1日 至平成24年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額(注2)
	日本	中国	タイ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,472,168	2,964,748	—	6,436,916	—	6,436,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	280	111,823	—	112,103	△112,103	—
計	3,472,448	3,076,572	—	6,549,020	△112,103	6,436,916
セグメント利益又は損失(△)	64,862	229,617	△15,100	279,379	69,756	349,136
セグメント資産	4,031,199	2,265,281	630,597	6,927,078	△1,356,572	5,570,505
その他の項目						
減価償却費	125,212	74,572	49	199,835	—	199,835
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	22,260	23,162	204,108	249,531	—	249,531

(注) 1. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自平成24年9月1日 至平成25年8月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額(注2)
	日本	中国	タイ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,251,686	3,587,420	25,076	6,864,182	—	6,864,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	134,617	3,076	137,774	△137,774	—
計	3,251,766	3,722,037	28,153	7,001,957	△137,774	6,864,182
セグメント利益又は損失(△)	△6,347	194,668	△91,783	96,537	61,019	157,556
セグメント資産	4,256,415	2,860,765	811,565	7,928,746	△1,553,976	6,374,770
その他の項目						
減価償却費	123,320	86,665	32,043	242,029	—	242,029
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	122,744	7,790	490,793	621,327	—	621,327

(注) 1. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自平成23年9月1日 至平成24年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日 本	中 国	タ イ	合 計
1,512,662	550,879	204,059	2,267,601

3. 主要な顧客ごとの売上高

(単位:千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
牧田(昆山)有限公司	2,044,032	中国
株式会社イノアックコーポレーション	1,612,773	日本
株式会社マキタ	1,088,113	日本
牧田(中国)有限公司	890,603	中国

当連結会計年度(自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日 本	中 国	タ イ	合 計
1,512,888	623,313	714,041	2,850,243

3. 主要な顧客ごとの売上高

(単位:千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
牧田(昆山)有限公司	2,182,672	中国
株式会社イノアックコーポレーション	1,750,754	日本
牧田(中国)有限公司	1,385,432	中国
株式会社マキタ	842,453	日本

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自平成23年9月1日 至平成24年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自平成23年9月1日 至平成24年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自平成23年9月1日 至平成24年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自平成23年9月1日 至平成24年8月31日)		当連結会計年度 (自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)	
1株当たり純資産額	1,274円63銭	1株当たり純資産額	1,477円97銭
1株当たり当期純利益金額	71円91銭	1株当たり当期純利益金額	27円66銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成23年9月1日 至平成24年8月31日)	当連結会計年度 (自平成24年9月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	262,418	100,926
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	262,418	100,926
期中平均株式数(千株)	3,649	3,649
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

- (1) 代表取締役の異動
該当事項はありません。
- (2) その他の役員の異動
該当事項はありません。
- (3) その他
該当事項はありません。